

エジプトの王様 ファラオは、ヘブライ人に  
生まれた男の赤ちゃんはすべて、ワニのいる  
川に投げこんでしまうようにと命令しました。  
どうしてでしょうか？ それは、ヘブライ人が  
あまりにも増えたので、反乱を起こして  
エジプトの権力をうばおうとするのでは  
ないかと思っただからです。



ミリアム、  
赤ちゃんの弟がきげんよく  
して静かにしているように、  
見ていてちょうだい。



あわれみ深い神様、  
どうか、わたしたちの  
赤ちゃんをお守りください！

アムラムとヨケベデは、赤ちゃんが  
生まれると、ファラオの命令にそむいて、  
赤ちゃんを家でかくしていました。  
そして、祈りながら、神様が解決策を  
下さるのを待っていました。

赤ちゃんが3ヶ月になると、もう家に  
そっとかくしておくことはできなく  
なりました。神様はアムラムとヨケベデに、  
あるアイデアを下さいました。ヨケベデは  
ヨシでかごを編み、赤ちゃんをその中に  
入れて川に浮かべ、神様に守って  
くださるようと祈りました。

ヨケベデは家に帰って、祈り続けました。  
その間、お姉さんのミリアムが、川辺の  
ヨシの茂みの中にかくれて弟の赤ちゃんを  
見守っていました。

きょうやくせいしょ とうじょう  
旧約聖書に登場する  
しんこう ひと  
信仰の人：

ヨケベデと  
むすめ  
娘のミリアム

しゅつ きていしゅう せつ  
出エジプト記 第2章 1-10節を  
よんでみましょう。

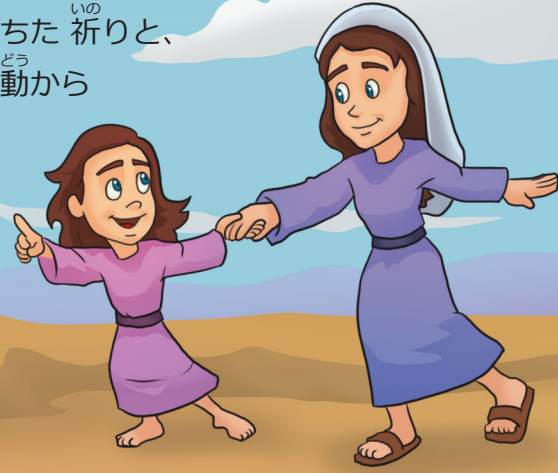


かごは 川に 浮かびながら、  
 ファラオの 娘が 水浴びをして  
 いる 所へ ただよって 行きました。  
 王女は かごの 中の 赤ちゃんを  
 見つけると、大喜びしました！

ミリアムは 大たんにも、王女の 所へ 行って、赤ちゃんの  
 世話を してくれる 女の人を 見つけて 来ましょうかと  
 たずねました。ファラオが ヘブライ人を きらっていると  
 わかっていたので、それには 勇気を 要したでしょう。  
 けれども 王女は 喜んで、その 申し出を 受けたのです。



ミリアムから その 知らせを 聞いて、ヨケベデは どんなに 喜んだ ことで  
 しょう。深い 信仰を もって 行動した ことが、赤ちゃんの 命を 救ったのです。  
 王女は 赤ちゃんに、モーセという 名前を 付けました。みなさんも 知って  
 いるように、この モーセは 大人になって、後に ヘブライ人を エジプトから  
 解放し、先祖の 土地へと 連れ帰る ことになります。ヘブライ人の 新たな  
 スタートは、ある 母親の 信仰に 満ちた 祈りと、  
 赤ちゃんの お姉さんの 大たんな 行動から  
 始まったのです。



「聖書ミニワールド：王女と赤ちゃん」と  
 「聖書に登場する若者たち ミリアムと  
赤ちゃんのモーセ」に、この お話の 一部始終が  
 書かれています。読んでみましょう。